

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：生涯学習推進課

担当名：社会教育施設企画調整担当

内線：6917

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B53	青少年げんき・いきいき体験活動事業		一般会計	教育費	社会教育費	社会教育振興費	青少年教育振興費	
事業期間	平成29年度～	根拠法令	社会教育法第3条、第6条、生活困窮者自立支援法第6条、第7条、埼玉県立げんきプラザ条例		宣言項目	06	次代を担う人財育成	
					分野施策	030621	豊かな心と健やかな体の育成	
1 事業概要			5 事業説明					
<p>子供の相対的貧困率は高く、平成27年には約7人に1人の子供が貧困の状況におかれている。一方、子供時代の様々な体験活動は子供の自己肯定感を高め、その後の人生に大きな影響を与えるが、経済的に困難な家庭の子供たちは、家庭の経済的事情から学校以外での体験活動を行うことが十分にできていない。</p> <p>そこで、直営げんきプラザにおいて、上記のような家庭の子供たちに体験活動の機会を提供することで、体験活動がもたらす様々な効果から、子供たちの人格形成に寄与し、青少年の健全育成を図る。</p> <p>(1) のびのびチャレンジ事業 $\Delta 848$千円 補助スタッフ謝金が見込みを下回ったこと等による減</p>			<p>(1) 事業内容 ア のびのびチャレンジ事業 経済的に困難な家庭の子供たちに、様々な体験活動の機会を提供する。 2,540千円</p> <p>(2) 事業計画 ア 社会福祉課との連携の下、経済的に困難な家庭の子供たちに対する学習支援事業を行っている支援団体と連携・調整し、対象の子供たちの参加を募る。 イ 対象は、生活困窮者自立支援法において、県が支援するとされている町村の子供たちとする。 ウ 直営施設である加須げんきプラザでは主に伝統文化に関する体験活動を、大滝げんきプラザでは、主に自然環境を生かした体験活動を、1泊2日の宿泊型事業として実施する。 エ げんきプラザ職員や体験活動講師、支援団体で関わっているボランティアやげんきプラザのボランティアが活動をサポートし、子供たちが様々な人と関わりながら活動する場面を設定する。 オ 効果検証のため、事業実施前や事業実施後に子供たちへのアンケートやその後の生活について追跡調査を行う。その検証内容をもとに他のげんきプラザでの事業展開につなげる。</p> <p>(3) 事業効果 ア 経済的に困難な家庭の子供たちが、普段できない体験活動や集団宿泊活動を通じて、自己肯定感やコミュニケーション能力を高めることができ、社会福祉課の「学習支援事業」と相まってその後の人格形成に大きな効果をもたらすことができる。 イ 様々な課題を抱える子供たちを支援する団体と新たな協働体制を構築することができる。</p> <p>(4) 補正予算の概要 ア のびのびチャレンジ事業：補助スタッフ謝金が見込みを下回ったこと等による減額</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円 \times 0.2人=1,900千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	$\Delta 848$						$\Delta 848$	1,692
現計額	2,540						2,540	